

第七回 高麗郡偉人伝 飯能出身 忠義の武人 中山信吉 特別展

◆ なかやまのぶよし 中山信吉 (1576年～1642年)

戦国時代末期、現在の飯能市中山に生まれました。父 家範は北条氏に仕え、豊臣秀吉の小田原攻めに際し八王子城で迎え討ちますが、敗戦し自害しました。十五歳で徳川家康に召し出され、そば近くに仕え、家康から信頼され、十一男 頼房よりふさの養育と補佐を任せました。後に頼房が、水戸初代藩主となると、「附家老」を命じられ、水戸藩の礎を築きました。お墓は、飯能市中山の智観寺ちかんじに建てられています。

◆ ごさんけ 徳川御三家 と 水戸藩について

徳川將軍家に次ぐ家格を持ち、徳川を称することを許された三家を徳川御三家と称します。江戸時代を通じ將軍の一門として絶大な権威を誇りました。家祖は、家康の九男 義直よしなお、十男 頼宣よりのぶ、十一男 頼房よりふさで、それぞれ尾張(名古屋)、紀伊(和歌山)、水戸(茨城)に封ぜられたため、尾張家、紀伊家、水戸家と呼ばれました。中でも水戸家は、尾張・紀伊家と異なり、江戸の小石川邸に常住したことから、俗称としての副將軍の名がおこったと考えられます。水戸藩主は、初代 頼房から十一代 昭武あまたけまで、頼房の血脈が絶えることなく国替もありませんでした。二代藩主の光圀みつくには『大日本史』の編纂のため多くの学者を集め、文化事業をおこして独自の教学である水戸学のもとを築きました。

◇ つけがろう 附家老とは

江戸時代、幕府が親藩に対し、また本藩が支藩に対し、施政を監督・指導するため遣わした家老のことです。代表的なのは御三家の附家老で、尾張家の成瀬氏、竹腰氏、紀州家の安藤氏、水野氏、水戸家の中山氏の五氏があります。代々の藩政を統轄し、格別な礼遇を与えられていました。

高麗神社社務所 埼玉県日高市新堀833 電話 042-989-1403



中山信吉 木像 (写真提供: 飯能市教育委員会)
江戸時代 智観寺 所蔵

※会場では、茨城県高萩市教育委員会所蔵の複製を展示いたします。



中山信吉 木碑 (写真提供: 吉備文化財修復所 飯能市教育委員会)
江戸時代 智観寺 所蔵

※会場では、ほぼ原寸大の写真タペストリーを展示いたします。

徳川家康の厚き信頼をうけ、水戸藩の附家老として初代藩主 徳川頼房よりふさを支え、そして二代目 光圀みつくにの才覚を見出した飯能出身の逸材、
中山信吉の功績と、
その一族を紹介する

第七回 高麗郡偉人伝
— 敗軍の将の子 天下人に頼られる —
飯能出身 忠義の武人 中山信吉 特別展

開催期間: 令和4年8月20日(土)～8月28日(日)

展示会場: 高麗神社 参集殿2階 大広間

開場時間: 9:00～16:00 ※入場無料

<講演会 及びトークセッション> ※事前申込み・両日とも各40名/参加無料/他、中面参照

■ 8月20日(土) 13:30～15:30 講師: 埼玉県立文書館 学芸員 大橋毅顕 氏

■ 8月28日(日) 13:30～15:30 講師: 石造文化財調査研究所 代表 松原典明 氏

<一弦琴 演奏会> ■ 8月21日(日) ※事前申込み・定員30名/参加無料/他、中面参照

<紙芝居 上演> ■ 期間内に複数日実施 ※展示会場内/自由参加・無料/他、中面参照

<ゆかりの地を巡る見学会> ● 8月24日(水) ※事前申込み/定員・参加費有り/他、中面参照

主催: 高麗神社<埼玉県日高市新堀833 電話 042-989-1403>/企画運営: 高麗郡偉人伝企画運営委員会
<後援> 埼玉県西部地域振興センター/日高市/日高市教育委員会/飯能市/飯能市教育委員会
茨城県高萩市教育委員会/テレ玉/飯能日高テレビ/埼玉新聞社/(株)ブラウズ<文化新聞>/(順不同)

◆ **展示会** 会場:高麗神社 参集殿2階 **※入場無料**

展示期間 — 令和4年 8月20日(土)～8月28日(日)

開場時間 — 9:00～16:00

中世期の中山氏の起りから、中山信吉の出世や功績、その一族の紹介を解説パネルにて3部構成にして分かりやすく展示します。智観寺所蔵の木碑原寸大タペストリーなど、信吉の生い立ちから水戸徳川に尽くしたことなどを始め、信吉の人柄も伺えるよう展示を行います。



中山信吉 木像(智観寺 所蔵) ※写真提供:飯能市教育委員会
※会場には、茨城県高萩市教育委員会所蔵の複製を展示いたします。

◆ **講演会** 会場:高麗神社 参集殿2階

■ 8月20日(土)13:30～15:30 **※事前申込み**

【第1部】 講演:『徳川家康に仕えた中山信吉の事績』<約50分>

講師: 埼玉県立文書館 学芸員 **大橋毅頭 氏**



<講師略歴>1983年、福岡県生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得。埼玉県立文書館学芸員。認証アーキビスト。専門は日本近世史。主な論文「中山信吉の事績と文化財」(『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』、15号、2021年)、「本庄宿戸谷家の柳河藩立花家への大名貸」(『文書館紀要』30号、2017年)、「松代藩八田家の産物会所運営」(渡辺尚志編『藩地域の村社会と藩政』岩田書院、2017年)、「將軍綱吉の牧野邸御成り」(大石学編『高家前田家の総合的研究』東京堂出版、2008年)など。

【第2部】 トークセッション<約45分> **大橋毅頭 氏** と **高麗文康** <高麗神社 宮司>

■ 8月28日(日)13:30～15:30 **※事前申込み**

【第1部】 講演:『墓所と祭祀から読み解く中山家の気概』<約50分>

講師: 石造文化財調査研究所 代表 **松原典明 氏**



<講師略歴>1960年京都府生まれ。立正大学大学院文学研究科博士後期課程中退。立正大学、放送大学非常勤講師を歴任。武蔵野文化協会理事、観光考古学会理事ほか。【単著】『近世宗教考古学の研究』(2009、雄山閣)/『近世大名葬制の考古学的研究』(2012、雄山閣)『近世大名葬制の基礎的研究』(2018、雄山閣)/『近世大名墓の考古学—東アジア文化圏における思想と祭祀』(編著、2020、勉誠出版) など

【第2部】 トークセッション<約45分> **松原典明 氏** と **高麗文康**

<講演会 参加申込み>

- 受付期間:8月1日(月)～8月27日(土) (両日定員に達し次第、締め切ります)
- 定員: 各40名 ○参加費: 無料 ○対象: 中学生以上
- 申込み方法:電話・神社窓口のいずれかにて申込み。(必要事項:氏名・住所・連絡先・年齢)
- 申込み先:高麗神社 受付時間: 8月1日 は9:00～(8/2以降は8:30～17:00) TEL 042-989-1403

◆ **体験イベント① 楽器演奏会** 8月21日(日) 11:00/14:00 (各40分程)

～中山氏ゆかりの調べ～ 第10代・中山信敬が愛した楽器「一弦琴」の音色を体験

一弦琴演奏家: **高橋 通 氏**

(作曲家・医師/飯能市在住)

【会場】高麗神社 参集殿2階 展示会場側

【定員】各30名(事前申込み 先着順) 【参加費】無料

【申込み】8月1日(月)より高麗神社にて(申込時間は講演会申込に同じ)

申込み方法:「電話042-989-1403」もしくは「神社窓口まで」



上記写真:一弦琴



◆ **体験イベント② 紙芝居 上演 『 武将・中山信吉 物語 』**

上演日: 8月20日(土)/ 22日(月)/ 23日(火) / 25日(木) / 26日(金) / 27日(土) / 28日(日)

時間: 午後2時頃より(但し20・28日は10時より)(約30分) **※申し込みの必要はありません。自由参加です。**

会場: 高麗神社 参集殿2階 展示会場内

中山信吉の功績と足跡を紙芝居でわかりやすく学ぶことができます。

上演者: 展示解説員・**山崎綾子 氏**



◆ **体験イベント③ 現地歴史見学会** 8月24日(水) 9:30～12:00

<※小雨決行>

「飯能市内の中山信吉と中山一族のゆかりの地を巡る」

【見学地】智観寺・中山家範館跡・加治神社など

【定員】20名(事前申込み 先着順)

【参加費】500円(資料 / 保険代等) ※当日集めさせていただきます。

【日程】案内解説・・・尾崎泰弘館長(飯能市立博物館) 9:30 (集合)智観寺の山門

9:30～ 智観寺 宝物殿内見学(信吉公像、木碑など) — 智観寺「中山信吉の墓等 お参り」

11:00～ 中山家範館址、加治神社等の見学・説明 12:00 解散

【申込み】8月1日(月)より高麗神社にて(申込時間は講演会に同じ)

申込み方法:「電話042-989-1403」もしくは「神社窓口まで」

(必要事項:氏名・住所・連絡先・年齢)

※申込者には、後日詳しい内容の案内ハガキを通知いたします。



加治神社 (飯能市中山716)



智観寺 (飯能市中山520)



中山信吉 墓所

<高麗郡偉人伝 協力団体紹介>

飯能市立博物館 / 智観寺 / 能仁寺 / 茨城県高萩市「就将館」 / 埼玉県立文書館 (順不同)

<感染症予防にご協力ください> ※本企画への参加の際には、再度神社ホームページにて最新情報をご確認ください。当日ご体調のすぐれない方は、ご参加、ご入場できません。マスク着用、手指除菌等にご協力ください。感染症などの関係で、内容等が急遽変更または中止になる場合もございます。